

平成27年度 カリキュラム委員会（第3回）議事要旨

日時：平成27年9月18日（金） 15:00～15:50

場所：全学教育管理・講義A棟 6階 大会議室

出席者：委員長 箕島（実施調整部長）

委員 窪田（企画開発部長）、堤（文）、中野（文）、竹村（景）（言（外））、坂口（法）、小野（経）、宮地（理）、宮崎（理）、岡村（理）、佐藤（宏）（医）、中村（渉）（歯）、中川（晋）（薬）、下平（基）、木村（言）、山本（言）、三宅（言）、松本（言）、柿澤（全教・進藤（言）代理）、松繁（国公）、中川（博）（情（基））、大谷（国セ）、宮久保（博）、安福（サ・阿部代理）、清川（サ）、宇野（全教）、森（全教）、坂東（全教）、坂尻（全教）、山口（全教）、井原（インカレ）

オブザーバー 梅下（医保）

欠席者：下田（機構長）、青野（人）、野村（人）、青木（法）、関口（経）、佐藤（透）（理）、藤本（理）、廣野（理）、和佐（医）、南方（工）、西田（保セ）、竹村（治）（TLSC）、岩居（全教）、小松（全教）、中村（征）（全教）

陪席者：異事務長、脇坂事務長補佐、都々木教務係長、西村教務係員

議事に先立ち委員長から、福田教授（経）から小野教授（経）に委員が交代する旨紹介があった。

また、委員長から、前回の本委員会議事要旨（資料2）の確認があった。

議題：

協議事項

1. 平成28年度開講授業科目等について（資料3）

委員長から、資料3に基づき、前回からの第2外国語（日本語）の前期2コマの削減以外に現時点における大幅な変更等（授業科目の追加、削減等）の報告はない旨説明があり、審議の結果、担当教員の職名欄を一部修正のうえ承認された。

なお、本資料を基に後日、各部局長宛に授業担当教員選出の依頼を行う旨説明があった。

2. 教養教育科目（国際2を除く）・専門基礎教育科目（文系）の開講枠について（資料4）

委員長から、資料4に基づき説明があり、審議の結果承認された。

なお、開講曜日・時限の変更がある場合は、各科目区分の開講枠内で変更いただく（開講枠外での開講及び配当は認められない）旨説明があった。

3. 平成27年度授業担当非常勤講師の資格審査について（資料5）【回収資料】

審議に先立ち、委員長から、「全学共通教育科目に係る非常勤講師委嘱の指針」に基づき、資格審査の流れ等について説明があった。

続いて、委員長から、資料5に基づき、当該審査対象者は第2学期から授業担当を予定しており、責任部局（理学研究科）の専攻教授会において承認を経ている旨説明があり、審議の結果承認された。

4. 平成27年度授業担当教員等の変更等について（資料6）

委員長から、資料6に基づき説明があり、審議の結果承認された。

なお、「物理学2A」及び「物理学序論2」を非常勤講師（理学部の経費負担）に担当を変更することについては、「物理学2A」旧担当者であった教授が8月26日付け理事・副学長に就任したため、またそれに伴い、「物理学序論2」の旧担当者であった准教授が同教授の担当予定であった専門科目を担当することによる担当コマ数の関係上生じた変更であり、平成28年度以降は専任教員による担当に戻る予定である旨併せて説明があった。

5. 平成27年度ゲストスピーカー（特別講師）について（資料7）【回収資料】

委員長から、資料7に基づき、平成24年度から大学本部からの予算措置が廃止され、本機構においても例年予算が削減されていく状況を考慮し、本機構経費での経費負担は取り止めているが、資料7の申請分については、各部局の経費負担により実施を希望するものであり、申請にあたり各部局担当者が授業実施部局の長に提出し、予算の裏付けの承認を得たものとなっている旨説明があった。

なお、ゲストスピーカーを活用する時間は、原則として1授業科目について当該授業の総時間数の4分の1以内の時間（15回中3回以内）である旨、併せて説明があり、審議の結果承認された。

6 特別外国語演習の科目設置（科目区分変更）について（資料8）

箕島委員長から、資料8に基づき、前回（7/17）の本委員会での報告のとおり、関係科目の委員を中心とした検討WGを設置して7月17日にワーキングを開催した旨、及び当該WGの審議内容等について議事要旨に基づき説明があった。

続いて、箕島委員長から、外国語学部からの特別外国語演習の科目設置（科目区分変更）にかかる要望については、「大阪大学の特長ともいえる国際教養2（特別外国語演習）を新規に開講することは有益であると考えますが、現行の国際教養1の当該科目は履修者数も多く学生からのニーズがあるので、当該科目を削減することは学生の不利益に繋がることから、本WGとしては了承できない。これらの状況から、例えば現行の特別外国語演習のうち、履修者がいない又は履修者が極少数の科目を国際教養1に移行する、あるいは同じ言語科目のI及びIIを統合するなど総合的に見直しを行うことにより、要望されている特別外国語演習への変更ができないかなど、外国語学部において再検討をお願いしたい。」旨の当該WGの審議結果の説明があり、審議の結果、当該WGの結論をカリキュラム委員会としての結論とする旨承認された。

なお、本件について、外国語学部長あてに機構長名の文書にて承認内容を記載した回答を行う旨説明があった。

●その他配付資料

カリキュラム委員会委員名簿等（資料1）

カリキュラム委員会（第2回）議事要旨（資料2）

次回開催：平成27年11月20日（金） 13:30～（予定）【開催時間注意】